

ウェルカムタウン八王子プロジェクト

団体名 尾崎ゼミ
代表者名 柳伊織

1. 事業内容

本事業は、八王子市における外国人(観光客・居住者を含む)を対象にした、食に関する事業である。現在、八王子市には、外国人に向けた、観光マップは存在するものの価格帯が高い他、英語のメニューが存在しない、食文化(ハラールやベジタリアン、ペスカタリアン等)に対応したものが少ないことが課題として挙がっていた。そこで、本事業では、外国人を対象にニーズ分析を行うとともに、そこから得られた課題をマップに反映させる。

また、八王子市街で、多国籍料理やベジタリアンなどに対応した飲食店をマップ掲載店舗とし協賛していただく。飲食店の店内には、当ゼミで作成した、英語メニューの設置と、食文化シートを設置する。食文化シートは、お客様が持っている食文化について、従業員と容易にコミュニケーションができるように設計し、宗教的に飲食物の制約などがある場合は、その食材を使用したものを提供しないようにできることができる。

それに加え、本事業では、「食×教育×八王子」の視点から、「八王子子ども食堂」を選定した。この募金箱に寄付することで、食を通じて、来店者が教育に貢献しているということ、郷土に貢献しているということにつながるという目的を備えている。

1 八王子マップ ラフ画

(飲食店・観光地等を含む)



2 八王子子ども食堂を対象とした募金箱の作成



2. 実施報告

本事業について申請時には、英語メニューにアレルギー表示や、お客様からアレルギーについての申し出をすることを案に記載していたが、コンタミネーションがあった場合の責任の所在や、アレルギー表示については記載を間違えることがあると命の危険にさらすこともあるため、この度は断念した。その代わりとして、食文化カードを作成し、従業員との円滑なコミュニケーションに役立つことが見込める。また、英語メニューについても外国人に理解が難しいメニューなどは、説明を付けるなどして制作した。

現時点で、本事業の協力店舗は10店舗であり、ほぼ全店舗で八王子子ども食堂への募金箱を設置している。なお、10店舗の中には、経営の都合上、設置が難しい店舗があったことも事実である。

八王子マップについては、掲載方法を当初の紙媒体という案から、デジタル化する案に変更することになった。いつでも、どこでもアクセスできることを目的とし、今後の掲載店舗が増加する際にも、更新がしやすいというメリットがある。現在、八王子マップ掲載用のホームページを開設中である。

- 1 英語表記メニュー(©ミリス)
- 2 ホームページの作成



CURRY [single]

Chicken curry	¥ 850	Chicken spinach curry	¥ 900	Garland chrysanthemum	¥ 950
Keema curry	¥ 850	Keema spinach curry	¥ 900	Coriander	¥ 950
Vegetable curry	¥ 850	Seafood curry	¥ 950	Detox curry	¥ 950
Beans curry	¥ 850	Mutton spinach curry	¥ 950	(chicken, keema, mutton)	
Mutton curry	¥ 900	Butter chicken curry	¥ 950		

Choose spicy from 5 levels⁺

0. Mild 1. Normal 2. Medium 3. Spicy 4. Extremely spicy



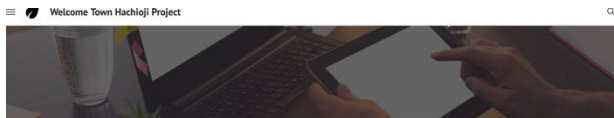
Roll nan



Chicken biryani

Rice	¥ 300
Basmati rice	¥ 500
Garlic rice	¥ 500
Chicken biryani	¥ 1000
Roll nan	¥ 650
Spicy roll nan	¥ 750

※All prices are excluding tax



Soka University

Ozaki Seminar

2020年大学コンソーシアム八王子「学生生活実業補助会」受託プロジェクト



Hachioji Map
Restaurants for Halal, Pescatarian, Vegetarian, Vegan



Questionnaire to international students/residents
Input from international students and residents for the life in Hachioji

3. 実施した感想

コロナ禍で休業を強いられる店舗が多数存在する中で、飲食店との提携をすることが最も難しかった。さらに、外国人観光客や留学生を対象にしたニーズ分析についても、コロナ禍の影響もあってか、調査母体を抽出するのに時間がかかったことは難点であった。結果、(i)質問紙の分析が遅延してしまったこと、(ii)飲食店との連携が遅れてしまったことは否めない。また、八王子マップの制作については、現在ホームページを開設するためのプログラミングの段階である。完成次第、10店舗の掲載をしたい。

本事業では、八王子には多くの多国籍料理や食文化に対応した飲食店が存在することが

発見できたが、その反面、外国人が、情報が少なく食文化に悩むということも確認できた。そうした、相互のニーズに対応し、情報を提供できる八王子マップの有効性を感じた。また、八王子子ども食堂との交流を通し、「食」通して「貧困をなくす」、「飢餓をなくす」は、SDGsの16の目標の中に対応するものでもあった。持続性という点で見れば、ホームページを開設することにより、今後店舗が増えていくことに対しても更新ができるようになる機能を備えることで、一時的な事業で終始せず、今後も続けていくことができる可能性がある事業であると結論づけられる。